(3) 地域農産業の支援

○座光寺スマートIC周辺の選果場などでは、高速道路へのアクセス性向上により商品の 流通効率が向上します

〇スマートIC利用による輸送時間の短縮





▲JAみなみ信州市田柿工房(H25.4月完成) は 市田柿(干し柿)を出荷。年間売上額は約8億円



▲市田柿(2006年に地域ブランドとして 登録された南信州を代表する特産品)



・飯田IC周辺の国道153号は慢性的に渋滞しているため、 商談などで名古屋・大阪方面から当該工房へいらっしゃる際には、座光寺スマートICを利用することで国道の混雑を 回避できるのではないでしょうか。



出典:JA南信州市田柿工房ヒアリング

(4) 地域救急医療の支援

○座光寺スマートIC周辺地域では、第3次救急医療施設へのアクセスが3分短縮され、 救急救命率が向上します

〇救急搬送時間短縮による救命率の向上

■救急搬送時間の所要時間の変化 20 15分 所要時間(分) 10 0 整備前 整備後 ▲国道153号の渋滞筒所を 走行する緊急車両の様子 ■時間短縮による救急救命率の変化 出典:「M.Cara:1981. カーラーの救命曲線 (%) 100 約90% (約15分) 75 70% (約12分) 死 50· 率 整備前 25 整備後 30秒 3 1時間 10 15 (時間経過) ① 心臓停止後約3分で50%死亡 ② 呼吸停止後約10分で50%死亡 ③ 多量出血後約30分で50%死亡 ※算出区間は座光寺PA付近~飯田市立病院 ※所要時間は民間プローブデータ(2015年9月)より算出

OスマートIC利用による搬送時間の短縮

